

アイデア創出・実践のための「ファブ施設」に関する調査事業 報告書

1) 調査先概要

- ・ 名称 : FabCafe Tokyo
- ・ 場所 : 東京都渋谷区 道玄坂 1-2 2-7 道玄坂ピア 1 F
- ・ URL : <http://fabcafe.com/tokyo/>

2) 調査項目

① 運営者

有限責任事業組合 FabCafe (FabCafe LLP)

② 施設の設置目的

まだ一般的ではないデジタルファブリケーションの裾野を広げて、オンラインだけでなくリアルに強い建築やプロダクトデザイナーのような分野のコミュニティを醸成することにより、FabCafe LLP の出資会社の一つである株式会社ロフトワーク（オンラインのクリエイターコミュニティ運営、Web を中心としたクリエイティブ・エージェンシー）の事業との相乗効果を目指すため。

③ 施設の設備、備品、その他通信や飲食提供などの環境

- ・ Wi-Fi
- ・ プロジェクター
- ・ 大型ディスプレイ
- ・ 厨房
- ・ カフェ
- ・ レーザーカッター2 台、カッティングマシン2 台、3D プリンター3 台、UV プリンター1 台、テープクリエイター1 台、ミシン、3D スキャナー

④ 施設の利用者

IT 系のクリエイターやエンジニアが多い。アパレル関係の利用もある。カフェのみの利用の場合もある。

⑤ 当該施設利用者が、現地で行えること。利用者の過去の実績など

- ・ カフェの利用
- ・ コワーキングスペースとして活用
- ・ イベント、ワークショップへの参加

⑥ 施設が所在する周辺地域、日本国内、及び海外の他ファブ施設との連携実績

FabCafe は、日本のほか、バンコク、バルセロナ、台北、トゥールースにある。国内は、東京に加えて岐阜県の飛騨に 2016 年 4 月に設立。

海外の FabCafe との日常的営業での大きな連携はまだ無いが、クライアントプロジェクトや YouFab※は海外拠点との連携を図り積極的に開催していこうと企画している。
※YouFab Global Creative Awards

2015 年 :

<http://www.youfab.info/2015/index.html>

2016 年 :

<http://www.youfab.info/2016/index.html>

⑦ 施設を維持する収益構造

- ・ カフェ利用が 30%
- ・ 機材利用が 10%~15%
- ・ イベント・ワークショップ (例. 月 1 回の「Fab Meetup」 参加費は利用者 1 人あたり 1,500 円)
- ・ 企業とのコラボレーション (例. NEC がクライアントとして、ヤマダ電機の池袋店で NEC 製パソコンの購入者に 3D プリンターやレーザーカッター、テープクリエイターを無料で体験出来るイベントを実施)

⑧ 施設の管理者、特にマネージャーの役割、当該者の経歴、得意分野

料理、コーヒー、デジタルファブリケーションそれぞれに専門スタッフがあり、スキルの兼業が出来ない。
店舗マネージャーは元バリスタで、役割としては、リクルーティングや情報発信を行っている。

⑨ 運営者、又は管理者の感じる施設の課題

- ・ 顧客は長時間滞在するため、カフェの回転率が低く、売上が低い
- ・ 地域やグローバルの他施設との協働が少ないので、もっと増やしていきたい
- ・ 多様なユーザー同士の教え合い学び合いやコラボレーションを偶発的にもっと起こしたいという目的に対して、自由に使えないと起こりにくいが、使いやすさを求めると単なる出力サービスになりがちとなる。そのバランスをどうしていくかが課題

⑩ 調査者所感

ファブ施設というよりはカフェが主体であるというスタンスだった。

カフェであることのメリットは、来店者同士、または来店者とスタッフの間で会話が生まれやすく、それによりコミュニティの醸成が進む。飲食の機能は、コミュニケーションの促進に大きく貢献すると感じた。

また、FabCafe は「デジタルファブリケーションのエントランス」の役割を担うことを目指しているが、実際に幅広い分野の人が入店しやすいという印象を強く持った。店舗デザイン、フードコンセプトはパートナーと一緒に開発しており、丁寧に設計されていた。機材だけでなく内装やカフェメニューも場に機能を持たせる重要なパーツ

であると感じた。

3) 施設写真







